

令和2年度第1回県子ども・子育て会議 子育て支援人材・情報専門部会委員意見

意見照会期間：令和3年1月21日～2月5日（書面開催）

所属・役職	委員氏名 (敬称略)	委員意見	県の対応
神奈川県市長会 川崎市長	あくだ のりひこ 福田 紀彦	無し	
神奈川県町村会 葉山町長	やまなし たかひと 山梨 崇仁	書面による読解だけでは理解が乏しいのはと自らの判断に不安がともなう。オンラインでの会合を開催してほしい。	今年度の会議については書面会議とさせていただきますが、次年度は新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、対面又はオンラインの開催を検討いたします。
(公社)神奈川県私立幼稚園連合会 会長	おざわ としみち 小澤 俊通	R2年度以降の保育士の必要見込み数が大きくなっているが、果たして確保出来るのか。 また、幼稚園教諭の確保も厳しい状況にあり、保育士と同等の確保策が必要であると考える。	保育士の必要見込み数は、幼児期の教育・保育の需給計画の確保の内容（供給量＝利用定員数）を基に算出しています。 需給計画の改定に伴い、利用定員の見込み数の増加とともに保育士数も増加する見込みとなっていますが、毎年度、確保の状況を確認し、点検・評価を行います。 また、幼稚園教諭の確保につきましても、同様に、幼稚園の整備状況やプランに位置付けた確保策の実績により、点検・評価を行います。
(公社)神奈川県看護協会 保健師職能委員会 委員長	よねくら むつみ 米倉 睦弥	無し	
神奈川県保育士養成施設協会 会長代理兼事務局長	こいずみ ゆうこ 小泉 裕子	「点検・評価結果報告書（案）」について ① 従事する者の確保について 保育士確保の実績表に示される内容ですが、毎年度保育士資格取得を得する者の数は明確になっており、わかりやすいと思う。しかし、「確保の実績」として例えば、「3年以内に離職する者の数」、「3年以上就労し続ける者の数」（これはあくまでも例）等、保育士確保に奮闘している保育現場の実態を表すようなデータも必要ではないかと思われる。 ② 従事する者の質の向上 記載内容として、具体的な研修名を記載することに賛成である。しかし、単純に研修に参加する実績は増えても、保育者等が研修に参加し振り返りの結果や、改善・課題などが明確にならなければ、保育の質向上に寄与した研修とは言えないのだと思う。例えば研修参加の満足度を数値化するなど、研修の成果を公表（県民への説明等）する取り組みも必要ではないかと思われる。	① 保育士の離職率の増加等、保育士確保の現状を踏まえ、プランには、保育士資格取得のほか、就業継続支援や潜在保育士の復帰促進支援の取組みを位置付けています。 点検・評価に当たっては、保育士資格取得者数のほか、就業継続支援や潜在保育士の復帰促進支援の取組みの実績を数値等によりわかりやすくお示しすることを検討します。 ② ご意見のとおり、質の向上の点検・評価については、研修の参加実績のみでなく、研修の実施による質の向上の実績について点検・評価を行う必要があります。 研修の受講者の満足度は受講者アンケートにより把握していますので、満足度を踏まえた研修の改善・課題等を対象として点検・評価を行います。
イキメン研究所 上席研究員	おだ ゆずる 織田 弦	無し	
子どもの領域研究所 所長	おぎ まり 尾木 まり	「かながわ子どもみらいプラン」P.102に配置基準が示されているが、特定地域型保育事業の小規模保育A型、B型については今示されている保育所と同様の配置基準に1名を加えた基準となっているので、確認してほしい。	ご意見のとおり、プランに記載する配置基準のうち、小規模保育A型、B型の配置基準は保育所の配置基準のみの記載となっており、記載が不十分ですので、中間年の見直しの際に修正します。 なお、プランに記載する保育士の必要見込み数のうち、小規模保育A型、B型の保育士については、保育所と同様の配置基準に1名を加えた基準で算出しています。
東洋英和女学院大学人間科学部 保育子ども学科 准教授	かなもり みえ 金森 三枝	無し	無し
(社福)神奈川県社会福祉協議会 保育協議会 副会長	おくむら なおと 奥村 尚三	無し	